

常田 賢二 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

①富裕層旅②デジタルインフラ整備③食育

問 ①富裕層をターゲットにした観光戦略に注力しては②光ファイバー網の100%完備と5Gのエリア拡大を③栄養教諭による食育を平等に受けられる環境整備を。

答 ①ハイエンドな旅は成立し得る。新年度に向けて強化したい②早晩99.5%の普及率になり、残るは倉吉市の小鴨以西。過疎債や県の補助等を入れて条件整備は一通りできる。不感地区の解消は政府の後押しも注目し、市町村と一緒に解消に努めたい③教育委員会と話をし市町村と調整を図っていききたい。

福田 俊史 議員 

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

森林、林業による本県の地方創生について

問 とっとり森林・林業振興ビジョンの素材生産量や造林面積の目標、2050年度カーボンニュートラルや2030年度の削減目標達成には皆伐再造林の拡大が重要だ。森林所有者への一層の動機づけと支援策が必要では？

答 全国で皆伐再造林に乗り出したはいいが、皆伐で止まっていることが課題だ。再造林に次の支援がなければ安定的に進まないと思っている。森林組合等に意見を聞きながら、対策を強化し、工夫をしながら皆伐再造林の流れを作っていきたい。

会派正式名称
〔自由民主党〕
鳥取県議会自由民主党
〔会派民主〕
会派民主
〔公明党〕
公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明
答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

11月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。※掲載に時間がかかる場合があります。

[鳥取県議会議事録](#) 🔍 検索

一般質問

松田 正 議員 

選挙区 米子市
会派 自由民主党

北朝鮮人権啓発週間 作文コンクール(※2)

問 過去4年間の本県の応募数を調査した。私立校からは一定数の応募があったが公立校からは皆無に等しい。教育長は、拉致問題解決を目指す国民の一人であるという自覚を持てるような学習をと言われるが、公立校の生徒にその想いが届いていないのでは。

答 (教育長) 考え方・行動の変容につながる意味で、この作文は大きな意味を持つ。御指摘を踏まえ、ぜひ公立学校でも、こうした作文の持つ意味を理解し、そして考え方の変容につながるよう取り組んでまいりたい。

語堂 正範 議員 

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

サウナツーリズム推進 乳製品需要減への支援

問 ①「ととのうとっとり」をどのように推進するのか。ネイチャーサウナからフィンランドとのつながりができたが、どのように活用するのか②乳製品の需要減に対し、県としての支援は。

答 ①サウナスポットを結びつける事業をスタート。五塔熱子CEA(※1)と知恵を出し合い進める。フィンランドに傾注した経緯もあり、大使との交流等で協力関係を築きたい②バターが在庫200%でさらに積み上がっている。県職員で共同購入するなど、支援を考えたい。

島谷 龍司 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

本県の水産振興について

問 資源管理と成長産業化という漁業法改正の趣旨に沿った水産業振興のための施策展開は。

答 資源管理の調査を基に漁協自ら水産資源の管理計画を作成することにより、国の支援を得て水産業振興につなげていきたい。

問 資源保護、漁業者維持の観点から遊漁者にも漁業者同様の規制が必要と考えるがどうか。

答 海区漁業調整委員会と相談し制限指示を模索していきたい。

問 藻場保護、沿岸漁業維持のため早急なムラサキウニ対策を。

答 新年度予算編成で協議する。

(※1) 五塔熱子CEA…琴浦町地域おこし協力隊でプロの熱波師。県の「とっとりサウナCEA(最高経営アウフグーサー)」に就任。
(※2) 北朝鮮人権啓発週間作文コンクール…政府拉致問題対策本部主催。全国の中高校生が対象。今回が5回目の開催。



濱辺 義孝
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

「医療的ケア児」支援体制の取組推進を！

問 医療的ケア児は、医療の進歩で近年増加傾向にあり、家族への負担が重くのしかかっている。このような背景から、家族支援の法律が成立し、国や自治体に必要な措置を講じるよう義務づけられた。今後の取組について知事、教育長に問う。

答 相談機能が備わった支援センター開設に向け調整している。また、当初予算でも支援強化を図る。(教育長) 学校現場の医療的ケア児への支援充実を図る。また、看護師の確保など教育委員会として取り組んでいきたい。



中島 規夫
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

今冬の大雪に対する県の雪害対策

問 県は国・市町村と連携し十分に対策をとるべきだが、その状況は。山陰道鳥取IC～はわいIC・国道9号・鳥取鹿野倉吉線桂見～上光を同時に止め、除雪する計画だが、病人の救急搬送ほか、物流を止めるなど問題が多いが知事はどう考えるか。

答 国・市町村と協議中で、シミュレーション訓練を行っている。県は除雪機数を増やし、除雪開始時期も早めた。並行する山陰道・国道9号・県道を同時に止めることは絶対認められず、国交省ともう一度調整する。



澤 紀男
議員

選挙区 米子市
会派 公明党

鳥取県から宇宙ビジネスの創出を

問 新設された県産業未来創造課では、地域の将来を支える産業の一つとして宇宙産業を創出するチャレンジをスタート。これまで日本の民間宇宙ビジネスの現場の姿を直接学べるオンライン講座や、とっとり宇宙産業ネットワークの設立、記念フォーラムの開催など機運の醸成に取り組んでいる。国が創設したS-NET(※1)への加入や宇宙ビジネス創出推進自治体の指定を目指すべきと考えるが知事に伺う。

答 宇宙ビジネス創出推進自治体への指定を目指していきたい。



川部 洋
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

美術館を中核にしたアートツーリズム推進

問 県はこれまでAIR(※3)等のアートプロジェクトを長年に渡り支援してきた、十分に下地が整っている。美術館のオープンに向け、コロナ後の観光振興の有力なコンテンツとして、アートツーリズムの推進に取り組むべきだと考えるがどうか。

答 これからみんなで議論して、まちづくりやツーリズムにつなげるかを地域で考えることから始めるのかと思っている。提案のあったアートに関する体系的なコンセプトは県を元気にする道筋が入っていると思う。



興治 英夫
議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

米価下落対策と農業・農村政策について

問 過剰米を政府が買い上げ食糧援助に使うことや、水田の直接支払交付金は複数年契約加算廃止等の見直しを行わないよう政府に要望を。作付け転換拡大面積に対する連携型助成は満額を。飼料用米として多収品種コガネヒカリも推進を。生もみを濃厚飼料に使う稲SGS(※2)普及の検討を。

答 知事会で米の需要調整等を要望した。直接支払いは必要な要請をする。連携型助成は、1万円/10aを検討。コガネヒカリは、中山間地の推奨品種に考える。稲SGSは当初予算で措置を考えたい。



坂野経三郎
議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

日本遺産・デジタル田園都市国家・ICT教育

問 市町村を応援し、知名度向上や観光振興の観点で県内日本遺産の連携協働に取り組んでは。

答 日本遺産会議、日本遺産協議会という組織をどの部局がやるかを含め、新年度で検討する。

問 国は「転職なき移住」、私は「移住なき就職」を提言。鳥取在住のままで県外企業に就職するためデジタル人材育成が重要だ。

答 デジタル関係に強い人材を育てていくことも必要になる。

問 ICT活用した授業の課題は。

答(教育長) 第六波でも遠隔授業等学びを止めないようにする。

(※1) S-NET…スペース・ニューエコノミー創造ネットワークの略。内閣府と経済産業省が創設した宇宙ビジネスの創出を支援する活動。
 (※2) SGS…飼料米を乳酸発酵させたもの。ソフトグレインサイレージの略。
 (※3) AIR…ARTIST IN RESIDENCEの略。芸術家等が一定期間滞在し創作活動を行うこと。

 **浜田 妙子**
議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

**①犯罪被害者支援条例
②要支援者避難対応**

問 ①犯罪被害者基本法にある被害者支援条例が11市町村で制定、又は制定予定となった。100%実現への加速化を望む②特に重症心身障がい児の自然災害時の避難課題は多く、取組を。

答 ①そう遠くない時期に実現するのではと手応えを感じている。市町村と一緒に進めて参りたい②日吉津村との図上訓練は具体的訓練になった。新年度に実装で行うことで調整中。個別避難計画作成にも向え、横展開で共有できると考える。病院関係者主体の訓練は全国初かも。

 **銀杏 泰利**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

砂丘をテーマパークに直轄道有料化4車線化

問 ①砂丘西側、多鯨ヶ池、東側整備で鳥取大砂丘を一大テーマパークに。テーマはジオと砂と自然、人の営み②多鯨ヶ池の山側からの景色は池と砂丘と海が重なる絶景。③周辺整備の検討を④市道は散策路として活用を⑤社会資本整備審議会で、直轄道路4車線化は有料化とセットで検討される懸念あり。対応は。

答 ①まさに本県全体の観光振興になる。砂丘ゾーンのテーマパーク性を念頭に邁進する②③できるだけ早く整備図る④鳥取市と話し合う⑤慎重に対処する。

 **市谷 知子**
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

医療、風力・原発、学童保育、特別支援学校

問 ①医療職員にコロナ定期無料検査を②国保料統一議論。住民説明を③大規模風力発電計画は盛土条例規制対象か④原発避難計画の目的は⑤国府東小の学童保育専用スペース確保⑥県測定器使い米軍機騒音測定を⑦特別支援学校の教室不足改善計画を。

答 ①自主検査で②説明尽くす③条例施行日以降の着工は対象④放射線影響を最小限に抑える。計画実効性に終わりではなく新知見入れ実効性に努める⑤鳥取市が対応⑥考えてない⑦(教育長)本年中に計画を作り解消に努める。

 **野坂 道明**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

行財政改革の現状と課題について

問 ①鳥取市、倉吉市、米子市などの中核的な市と全面的に連携し県の総合事務所業務を移管するような大胆な体制見直しを構想すべき②大阪のように改革プランをまとめた上で行財政改革局が目標管理しながら総合的にマネジメントする体制を検討すべき。

答 ①中核的な市と一緒にやるのは興味深い提案であり、業務の洗い出しを図っていく②行財政改革を次のステップに進め、市町村や民間との協働を意識した体制も可能であり、今日の提案を受け止め、組織改正を検討する。

 **山川 智帆**
議員

選挙区 米子市
会派 無所属

最後の砦、安全協定改定の進捗の可否判断

問 知事が「島根原発の安全協定改定は議会からの宿題だから、改定状況を報告して議会が良しとするか。その後可否判断を行う」と言われたが、知事も議員も選挙で選ばれ二元代表制でやっている。従って「議会が」ではなく、知事自身の考えはどうか伺う。

答 議会からの宿題を勝手にこれはいいのか悪いのか判断するのは独裁だと思う。そこまで言われるのであれば、議会で多数決を採っていただきたい。

 **由田 隆**
議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

部落地名総鑑訴訟判決について所見を問う

問 部落地名総鑑訴訟の判決が昨年9月27日東京地裁において下された。この判決に対する知事の所見は。部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会に新年度から鳥取県が正式加入。知事としての今後の同和行政に対する決意を伺う。

答 この議場での議論に基づき“人権条例”を昨年4月に改正し、全国にまだ例のない「差別を受けない権利」の差別禁止条項を設けた。この条例改正を契機に私たち皆で共に生きていける社会を目指して参りたい。



内田 隆嗣
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

**日吉津バイパス道路
について**

問 日野川東岸道路の進捗について伺う。

答 現状の日吉津伯耆大山停車場線は、イオンから日吉津村役場など村の中心部を通り、安全対策上十分とは言えない。そのバイパスとして、日野川東岸道路は、町なかを避けて堤防道路のような形で造り直す計画。日吉津村は国道431号の北側に、村道をつけ効果を高めようとしており、県も新年度に用地に着手をさせていただいて事業の進捗を図っていききたい。



森 雅幹
議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

**原発再稼働判断に
UPZ外の自治体意見を**

問 県が最終的な判断をするときは、米子市や境港市以外の市町村長からも意見を聞く必要があるのではないか。

答 米子市・境港市以外の首長とも情報共有すべきではないかと思う。例えば市町村長との定例的な会議の場などでも、この原子力安全対策についても議論したほうがいいかなと思う。地元の意見を重視しながら進めていくが、そのほかの意見に耳を塞ぐことは決してない。意見を聞く機会というのはまた別途考えたい。



山口 雅志
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**シベリア鉄道を活用
した輸出ルート開拓**

問 シベリアランドブリッジ(※1)を利用して、ヨーロッパへの販路拡大にチャレンジしてはどうか。

答 課題も多いが、ロシア側、環日本海地域にも大きな意味のあることであり、今後もしっかり夢を持ち続けてコロナ後の展開に備えていきたい。コロナで日本に行けない、日本の物を食べられないと思っている人の中に入り込んでいけば、販路拡大のチャンスになるかもしれない。日本の農産物を売り込むのは国策でもある。今後も関係者と思いを共有していきたい。



浜崎 晋一
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**新型コロナを乗り越
えた先の地方創生**

問 ①東京オリパラのレガシーの展開は②全日空客室乗務員の県庁への兼業受入れは新たな関係人口の切り口。本県らしい地方創生に③医療的ケア児支援法施行を踏まえ実効性伴う体制を。

答 ①コロナ後の国際交流戦略につなげる。(教育長)努力の大切さや健闘讃え合う精神性を心の教育につなげる②仕事と居住を分けて考える時代。関係人口の活躍の場に選ばれるよう取り組む③体制強化を図り、医療的ケア児支援拠点設置を目指す。(教育長)保護者との連携を図り体制を整える。



福浜 隆宏
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**①コロナ②子ども目線
で観光発信③動画配信**

問 ①オミクロン株を必要以上に恐れないよう欧米で蔓延した要因分析と発信を国へ要望を②若桜町『冒険マップ』のように子ども目線での観光発信を③中学や高校で社会人を招いての講話を動画で収録し、いつでも誰でも見られるサイト構築を。

答 ①国としての分析は重要。そうした使命を担っていただけるとありがたい②非常に面白いプロジェクト。利用者目線で作る。どんな形が良いのか考えたい③(教育長)情報発信ツールとして期待できる。前向きに検討する。



伊藤 保
議員

選挙区 東伯郡
会派 会派民主

**フードロス問題は
SDGsの目標の一つ**

問 フードロス問題は、単なるごみ問題から、今や環境問題としてSDGsの目標の一つとして取り上げられており、フードドライブ(※2)等県としても取組を強化すべきでは。

答 食品ロスの削減法が制定された令和元年度以前から30・10運動(※3)など取組を展開している。県民の皆さんにわかりやすいフードドライブのあり方、宴会等で食べ残したご馳走を持ち帰る実証実験のトリピーフードバッグの賛同店を増やすなどの取組を進めたい。

(※1) シベリアランドブリッジ…シベリア鉄道と海上コンテナ輸送を組み合わせた東アジアと欧州・中近東を結ぶ国際輸送ルート。
 (※2) フードドライブ…家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体、施設などに寄付する活動。
 (※3) 30・10(さんまる・いちまる)運動…宴会等での食べ残しの削減を図る県の取組で、開始後30分間と終わりの10分間に食事をおいしく、残さず食べきる運動。